

えんちょう先生の わくわくだより

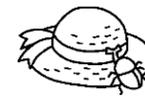
NO. 9 H29. 7. 3

♥乳児の育ちは むつかしいね



いちごひよこ組の皆、電車に乗って、はいパチリ！
お迎えにみえたおばあちゃんが上手にあやして下さいました。

未満児0. 1. 2才のこども達の生活をみてみましょう。1才から2才のこども達は大人から少しづつ離れて、こども達の世界を作り始めるのですが、つい手が出たり口が出てしまうものこの頃ですね。この1才～2才のこども達を「まるで思春期のよう」と言う人もいますが、突然「じぶん！」を主張し始め、見るもの触れるもの、何でも自分の思い通りにしようとして、思いが通らないと腹を立ててイライラと怒り出し、泣いてひっくり返って、その内、怒っている自分に腹が立つという感じ。こども達は、小さかった自分の中に、今までに無い自分が立ち現れてきた時の戸惑いを感じているのではないのでしょうか？みんなと関わりたいのにうまくいかない。友達の持っているものが無性にほしいのがこの時期です。こうした、ぶつかり合いは、「私はここにすわりたい」「ほくもほしい」という自分の意思を表そうとする自我。成長の原点です。自分が一生懸命にパジャマのボタンをはめている時に、友達が覗き込もうなら、イライラ「ガブリ！」と言う事もあります。「今、がんばってるから邪魔しないで」という気持なのかもしれませんが、まだコミュニケーションの発達していない小さい子供には、噛むという行為になってしまうのでしょうか。遊びが上手になったり、言葉でうまく関わられるようになればおのずと乱暴な行為も減ってくるものです。そう捉えると、こうした時期は一時期の事で、必ず落ち着いてくる見通しが持てます。自分を中心にして貫える家庭の中では起こらないけど、同じ位の、発達途中のこどもが多い集団だからこそ起こりがちな乱暴な行為ですが、噛んだ側の訳や、噛まれた方の痛みにも共感し、でも噛んだら相手がとても痛い事を教えながら見守っていきたいと思います。でも、この0歳、1才、2才のこども達の、笑顔はかわいくて、こんな頃を通過して大人になっていくんだなあ、と、気持ちが和みますね。毎日、賑やかなちびっ子達です。



小動物の飼育から自然の不思議と命の大切さを知る経験を！

先日、「先生、カニが卵を産んどったよ」と飼育ケースに、サワ蟹を入れて見せに来てくれた年長のN君。見れば、カキ色の卵が水にいくつも浮いています。そして、カニのお腹にはまだカキ色の卵が付いているものもいます。「カニのお母さんは、卵を産むから、お腹が丸くなっているね。オスは三角だよ」と話すと、「ふ～ん」とケースの中の何匹かのカニを覗き込むA君でした。「卵を産むとお腹がすくから、小さいミミズを捜して入れてやり 両方のハサミでくわえて食べるよ」と話すと、「え！みみず？」と言いながら仲良しのT君と職員室を飛び出して行きました。こども達は、こうした小動物を飼うだけでなく、生き物を通して自然の不思議さや命の大切さを知っていきます。カニにミミズを食べさせる。その事だけを見れば「なんかかわいそう」となる訳ですが、「自分達が食べている豚肉も鶏肉も動物の命を頂いて、自分達の命や元気の元になっている」という食物連鎖を学ぶ場面にもなります。少々残酷ではありますが、こうした経験を積み重ねながら、「生と死」の学びにつなげてほしいと願っています。



鉛筆の持ち方は今、箸の練習から

先日、第1回目の学校評議委員会がありました。ドッジボール大会やプール、又各クラスを回って学校の施設や授業風景を見せて頂きました。後の話し合いの中で、評議委員の方から「鉛筆の持ち方のおかしい子がいますね。上手に持たないと、きれいな字は書けないから・・・」というお話がありました。6/27日、年長組が小学校一年生の授業を見せて貰いに行った時には、一年生の先生が、「上手に鉛筆は持てましたか？」と指導をしてみえました。最初は手づかみで、こぼしながらも食べ物を口に入れる乳児の頃、だんだん指が動く様になって、上から、上手持ちでぎゅっとスプーンが握れ、その後、指全体を使って下手持ちへと移行していきます。3本の指が中心になってスプーンを使いこなせる様になると、鉛筆もちが出来る様になります。こうした順序を考えると、乳幼児期の手や指を使わせる経験がとても大事だとわかります。2才過ぎたら、箸のチャレンジOK！それまでの間に、根気よくスプーンの練習が大事ですね。園でも、みて行きますので、お家でも声を掛け、持ち直させ、根気よく練習をお願いします。3才以上児の子も今一度、箸の持ち方を見直してみましょう。生活の形態が変わってきたとはいえ、昭和10年ごろの3才児は7～7.5割くらいが上手に箸を持っていたそうです。日本人の器用さは、小さい頃からの生活にあったようです。箸の持ち始め、どんな箸がいいか？エジソン箸がいいと言われる方もありますが、脳科学者の澤口 俊之氏は、「やる気脳をそだてる」の中で、「最初から普通の箸を使うといいです」と書かれていました。箸＝えんぴつに繋がります。



真剣に絵を書く2才児のこども達



6/30日の避難訓練から・・・

子どもって・・・子育てはたいへん

子どもって・・・ちっともちゃんとしらないもの

子どもって・・・ちっとも言う事をきかないもの

子どもって・・・ちっともじっとしてないもの

子どもって・・・ちっとも早くしてくれないもの

子どもって・・・わかままで自分勝手なもの

子どもって・・・今のこじか 目の前の事しか

子どもって・・・何か頼むと すぐイヤだというもの

子どもって・・・自分の事しか考えず大人の都合を

子どもって・・・かんがえないもの

子どもって・・・泣き出すとぐちゃぐちゃになり、

どうして泣いているのか

わからなくなるもの